

英語教育改善プラン推進事業

第2回ワーキング（高校班）

Yamanashi Model 構築

～「話すこと [やり取り]」を中心とした発信力向上を目指して～



令和3年9月27日（月） 13:00 ~15:15

オンラインによる実施（Zoom）

高校教育課 角田 恵一

分科会 次第 (13:00~15:15)

- (1) はじめの言葉
- (2) 事務局より
- (3) 各校の指導案 (単元計画) について
- (4) 指導助言

朝日大学 亀谷みゆき 教授

- (5) 諸連絡
- (6) おわりの言葉

これまでの取り組みについて

8月5日「教育課程研究集会」（オンデマンド）

- ・ 行政説明と新学習指導要領の実施
（YouTubeの動画視聴による）
- ・ 各校4技能5領域版のCANDOリストの作成

これまでの取り組みについて

富士河口湖高校

8月10日

「小中高外国語科授業づくり研修会」

(総合教育センター)

地域内小中高連携

～小中高外国語教育連携研修会～

令和3年8月10日

富士河口湖高校 小林 康仁

これまでの取り組みについて

甲府昭和高校

- ・ 教科会議を通じて、CANDOリストの見直し

9月10日

「甲府昭和高校英語科学習会」(Zoom)

- ・ 各学年からの取り組み報告
- ・ 富高雅代調査官による助言

本事業の目的は...

- ① 小・中・高等学校を通じて、
- ② グローバル社会に生きる児童生徒に求められる英語
による発信力を向上させるために、
- ③ 実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題
(パフォーマンス課題)を設定し、
- ④ 指導・評価するモデルを構築する。

Yamanashi Modelの構築

～話すこと【やり取り】を中心とした発信力向上をめざして～

3つの柱

①話すこと【やり取り】 ②言語活動 ③パフォーマンス評価



☆CAN-DOリスト ☆ループリック ☆振り返りシート ☆小・中・高連携

領域別の目標と言語活動との関連（英語コミュニケーションⅠ）

話すこと【やり取り】目標	話すこと【やり取り】言語活動
<p>ア 日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。</p>	<p>（ア）身近な出来事や家庭生活などの日常的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、情報や考え、気持ちなどを即興で話して伝え合う活動、また、やり取りした内容を整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p>
<p>イ 社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、聞いたり読んだりしたことを基に、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p>	<p>（イ）社会的な話題について、使用する語句や文、やり取りの具体的な進め方が十分に示される状況で、対話や説明などを聞いたり読んだりして、賛成や反対の立場から、情報や考え、気持ちなどを理由や根拠とともに話して伝え合う活動。また、やり取りした内容を踏まえて、自分自身の考えなどを整理して発表したり、文章を書いたりする活動。</p>

今後の日程・取り組み

- ・ 9月~12月 授業実践・授業（生徒のパフォーマンス）撮影（配信も可能であれば）
 - 11月11日 甲府昭和高校（亀谷先生来校）
 - 12月8日 甲府昭和高校（UTYによる撮影）
 - 12月16日 富士河口湖高校（亀谷先生来校）
- ・ 1月下旬~2月上旬にオンライン会議(?)・2回目のアンケートを実施
- ・ 2月24日（木）第3回ワーキング実施「今年度の反省と次年度の課題」
本年度のまとめとして報告書を作成